

## ※ 今週のアウトルック(5/8~5/12)

先週は週明け高く始まった分、ドル円、ユーロ円、ポンド円などは下落しましたが、オージー円、カナダドル円などの資源通貨は幾分上昇しました。

FOMCに対する警戒感などから、木曜日までは円高が進みました。金曜日の米国雇用統計が良好な結果だったため、NY市場終了時までにはある程度円安が進んで終了しています。

今週はFOMCなどの今後の利上げに対するスタンスと、米国雇用統計の良好な結果がどのように市場に織り込まれていくかがポイントとなりそうです。

先週のドル円は、週明けこそ137円台で高く始まったものの、その後FOMCに対する警戒感などから、木曜日には133円台前半まで下落しました。

金曜日の米国雇用統計が良好な結果であったため、135円台まで上昇する場面もありましたが、NY市場終了時は134円台後半となっています。

今週は、6月の利上げが据え置きとなる見方が幾分強くなっていることと、雇用統計の良好な結果をどのように東京市場などが判断するかが、まずはポイントとなりそうです。

ドル円の予想レンジは130円から136円です。

先週のユーロ円は週初めに151円台まで到達したものの、木曜日までは下落し金曜日は米国雇用統計の影響から148円台を回復してそのまま週末を迎えています。

今週もユーロドルが1.11付近のレジスタンスをブレイクできてるか否かがポイントとなりそうです。

ブレイクできた場合は再び150円以上への上昇も期待できそうです。

ユーロ円の予想レンジは143円から152円です。

ポンド円も一気に172円台を付けた後下落しましたが、金曜日には回復し、170円台で週末を迎えました。

ポンドドルがレジスタンスをブレイクした為、ポンド円も再び175円付近を目指す展開も期待できるかもしれません。

ポンド円の予想レンジは165円から175円です。

米国、欧州、英国の今後の利上げスタンスにやや違いが出てきたように思います。このあたりがどのように影響するのかをまずは見極める必要があります。

\*免責事項\*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。